

はじめに

JACR Monograph は、地域がん登録全国協議会が開催します学術集会の記録集として、平成7年に創刊され、今回で21刊目となります。一昨年（平成26年）の第19刊の編集から、協議会内に編集委員会を設け、学術集会記事に加えて投稿論文を査読プロセスを経て掲載することになりました。今回は投稿論文の中から、総説1編、原著3編、資料3編を掲載しました。いずれの論文も、日本語で刊行されるがん記述疫学研究に特化した学術本のシリーズとして、相応しい内容のものです。

また、本書の第2部として、平成27年6月11日に「がん登録の新たな展開」と題して猿木信裕 群馬県衛生研究所長が会長を務めました第24回 地域がん登録全国協議会学術集会（前橋市）の中から、会長講演、招請講演、学術奨励賞受賞講演、教育講演、シンポジウム、一般演題21題および各県の登録室紹介11題の記事を掲載しました。シンポジウムの記録は、地域がん登録の充実に欠かせない、院内がん登録の整備と資料の有効活用についての課題の整理に、示唆に富んだ記録となりました。さらに、今回から「付録」の中に、日本の地域がん登録に関する出来事を、年表の形で掲載しました。

本書が、皆様のがん登録事業やがん記述疫学研究への関心を高め、より良いがん対策に向けた日々の活動の一助になれば幸いです。

「がん登録推進法」の施行を目前に控えて

平成27年11月

JACR Monograph
編集委員会